

# ユーモアスピーチ船橋

2019 (R1) 年 10 月 10 日発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

162 回船橋ユーモアスピーチ

2019 年 10 月 10 日 (木)

3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「笑顔」、「手紙」

ロングスピーチ

中久木 一乗さん 「入れ歯 の 歯無し」

石渡 巧さん 「古典落語」

主催：NPOシニア大楽  
ユーモアスピーチ共和国・船橋支部  
支部長：長嶋秀治 043-261-5832  
発行者：長嶋秀治  
編集&事務局：町田雅和  
267-0066 千葉市緑区あすみが丘  
5-26-7 T/F 043-294-2911  
mac555new@ybb.ne.jp  
参加費 500 円 (入会金 1000 円)  
見学科 500 円  
開催日と場所  
毎月第②木曜日 14:00~16:30  
会場「ニッセイ・ライフプラザ船橋」  
船橋市湊町 2-1-1 日生船橋ビル 1F

9 月 12 日の参加者：入江、稲葉、工藤、山田、はらだま、川田、飯野、中島、常廣、中久木、松永、田谷、佐々木、大塚、佐藤 (真)、西内、植野、早瀬、町田、長嶋 20 名

ロングスピーチ

## 船橋にゆかりの金メダリスト・西竹一中佐

入江 清之さま

### 1. 西竹一中佐・男爵 (バロン) の略歴

M. 35 年～S. 20 年。薩摩出身の父親は外務大臣 & 男爵。陸軍士官学校卒業。

昭和元年習志野陸軍騎兵学校へ入学、翌年卒業後も同校で馬術練習に専念。

S. 5 年イタリヤでウラヌス号を購入、半年間欧州の馬術競技大会等に参加。

S. 6 年馬術大障害飛越競技の五輪日本代表に選ばれる。選考コースは中山競馬場～習志野騎兵学校間で途中は一般道路。

S. 7 年第 10 回米国ロス五輪の馬術大障害飛越競技で金メダル獲得、スタンドの大観衆からのスタンディング・オベーション止まず。記者会見で「WE WON」・この金メダルは自分とウラヌスで獲得と語る。当時 30 歳。日本の乗馬競技で五輪史上唯一のメダリスト。S. 19 年栗林忠道中將を防衛司令官とする硫黄島へ戦車第 26 連隊長として参戦。翌年 3 月米軍への突撃攻撃で玉砕。享年 42 歳。



### 2. 彼が船橋で居住していたところ

①昭和元年陸軍騎兵学校へ入学した時には習志野の三山家に寄宿。

②S. 2 年馬術の訓練に明け暮れていた時には現東船橋の山崎別荘に居住。

③S. 8 年に陸軍騎兵学校の教官時代に本町 2 丁目に邸宅を構え、そこに愛馬ウラヌス号の馬屋も建て、同馬で習志野へ通った。以上



## ロングスピーチ

## からおけ あれこれ

稲葉 勝弘さま

私の趣味である身近なテーマを聞きかじった程度でお話します。但し、あくまで個人的見解で気楽にお聞き下さい。「カラオケ」の語源は空っぽのオーケストラの意味でそれまで楽団の演奏をバックに歌っていたのをコスト等から伴奏の録音に変えたものです。発明者の井上大祐は内気な日本人を変え功労者として評価されています。今やその進化としてカラオケボックス全盛です。但し、密室なので夫婦は別として男女二人はご注意ください。監視カメラがありますよ。



次にマナーについて：

- ①大声でしゃべらない。コミュニケーションで小声はOK。②批評は控える。ほめるにしても余りにも下手な歌には「味があるねー」
- ③歌を強要は不可。聞くのが好きな人もいます。
- ④ハモらない。好きな歌でもせいぜい小声で。
- ⑤歌の最中にそろってトイレに行かない。

要するに気持ち良く歌いたいと言うことです。不慣れな人も緊張することはありません。みんなほとんど聞いてません。ちなみに私のモットーは「自分さえ楽しめれば良い」です。



## 3 分間スピーチダイジェスト テーマ「我慢」「奇遇」

## 中久木 一乗：「我慢」

「ユーモアスピーチの会・船橋」に入ってから1年半、良かったことは、毎回、テーマの言葉の意味を net で見るようになったことです。今回の「我慢」も、全くの新発見で驚きでした。

「我慢」とは、「我に執着し、我をよりどころとする心から、自分を偉いと思っておごり、他を侮ること。高慢。我意を張ること。また、そのさま。強情。」と、ありました。

これは私の認識と全く逆ではないか? と驚いたのです。近世以後は 耐え忍ぶこと。こらえること。辛抱することとなつたらしいです。

私は80年近く「我慢」を大切にし、忍耐一筋でした。我慢することが「世の中を渡るのに、上手く風当たりをよけながら、時折、機を見て我を通す」良い方法と思っていました。今考えると、それって、仏教のいう「思い上がりの我慢」であった気がいたします。

## 工藤 文夫：「我慢」

私が我慢していることは、①夏の暑さ（妻との温度差の感覚が合わず、いつもこの季節は争いの種。妥協案は、設定温度 29C+扇風機 2 台で廻す）②TV の C F がうるさい（2 画面 TV を購入。常に画像の片方を NHK・BS にして、CF 時は、音声を切り替える。）③トイレの残臭・特に息子（toto のショールームで一番脱臭機能のある機種に取り替えるも解消せず、さらに小型扇風機を取り付ける。）④ツレアイ

（こればかりは大変難しく、一句・・・「円満は、会話少なめ、外出多め」?? 一生の難問）

## 西内 幸雄：「近況」

心身が解放された感があります。義母（91 歳、山梨、独居）の健康、妻（一人っ子）の健康等が気持ちを重くしていました。義母が亡くなり、葬儀、納骨に始まり、新盆まで、また死亡に関する諸手続き等々。諸手続きは医師の死亡診断書以外は私は他士業に儲けさす必要はないと考え、判らなければ聞けばよいとのスタンスで、独力でやりました。ほぼ完了です。後は、お役所等の前例踏襲・書面申請主義の結果、時間待ちです。妻の健康面も、すごく元気になり、食欲バリバリです。やればできるスタンスで、団塊世代おじさんががんばっています。応援よろしく願いいたします。

## 田谷 正明：「我慢」

漬物が大好きです。しかし数年前から「クレアチニン」の数値が高くなり今や完全に「慢性腎臓病」になっている。病院の先生は「歳なんですから別に問題ありませんが減塩に努めてください」と言われるので漬物を我慢して食べないよう心がけています。しかし我慢をしすぎると精神衛生上、悪いので年末になると「山東菜漬け」を注文して一人抱え込んで食べ尽くした後は漬物断ちの食生活を続けています。人生最後の食事は漬物のフルコース・なすの糠漬けから始まって山東菜漬けで終わってコロッと逝く。その日まで漬物は我慢します。



**飯野 望：「我慢」**

食事は毎日賞味期限の切れたものしか食べられません。  
自動改札は、タッチの差で侵入禁止！  
映画館の座席のひじ掛けは、取り合いの攻防に全力で！  
小泉&クリステル、萩野&ミワのカップルは・・・  
『ヒニン、ナシ』妊娠しました！・・・我慢しろ！

**松永成三郎：「結婚と我慢の話」**

結婚はお互いの愛情と理解と合意があってこそ継続するものです。我々の時代は一回結婚したらお互い共白髪で死ぬまで添い遂げるのが当たり前の美德と教えられてきました。離婚をバツ一(戸籍上)などと言うのはまだその名残があるのでしょうか？ところが今や生涯離婚率は日本でも3組に一組、米国では2組に一組という時代になっています。極端なのは新婚旅行後の「成田離婚」という事さえそれほど珍しくないようになっていきます。夫婦になった以上はやはりお互いへの思いやりと相互理解、そしてときには我慢も必要と改めて思います。

**入江 清之：「旗照夫」**

昔懐かしの歌手旗照夫(86歳)は疎開先の仙台で終戦を迎え、尋常小学校を卒業したが、東京へは戻れずに仙台一中(現・仙台一高)へ入学、野球部にも入部。直ぐの仙台二中との定期野球試合に出場、監督からバットを一度も振らない四球作戦で行くぞとの指示で、打席に立ったまましていると本当に四球で出塁。一塁ベースに立つと自分の目線は一塁手のベルトあたりで、大分身長差があった。これは昭和21年の話で中等学校1年の旗は13歳、相手一塁手は5年の17歳。旗はその後東京に戻り、都立日比谷高校卒業、歌手デビュー、ヒット曲「ハッシャバイ」や「あいつ」でNHKの紅白歌合戦に7回出場。旗はひと旗をあげても、今なお現役。

**早瀬 君子：「我慢」**

周囲のサークル仲間たちの高齢化と共に、彼らとのお付き合いに我慢することが増えていることを痛感している。  
\*とに角同じ話を何度も聞かされるが「その話聞いたわ」とも言えず、少なくとも5回以上は我慢して聞くことになる。  
\*自分の価値観や古い考えを押し付けられる度に直ぐに「ノー」と言いたいが我慢して苦笑するばかり。  
\*愚にもつかない小さなミスを得意げに指摘する人にひと言逆らいたいが、見っともない口論になるのは嫌だから我慢してしまう。仲間との交流は楽しい反面我慢が溜まり、ストレスの山となって心の中に積もってしまう。先が見えてきた人生・・・ストレスを解消してスッキリしたいが、まだまだ我慢は溜まりそうだし、一体どうすれば良いのか妙案が見つからない。

**植野 晏生：「朝顔栽培」**

私の朝顔栽培はまだ5年目。始めたばかりです。団十郎・変化朝顔・鳴神(名古屋の秘蔵種の切込仕立)など手掛け、今年は大輪朝顔に挑戦中です。親蔓・子蔓・孫蔓仕立などにチャレンジ。まだ花径16cmφ。目標は20cmφ超えです。今年低温・多雨で朝顔栽培には適してなかったようです。(朝顔は中南米熱帯原産説が有力。極少量の微温湯で栽培)

**町田 雅和：「我慢」**

男と女、どちらが我慢強いかを調べていたら、男女を比較した一言集を見つけましたので紹介しました。男は家で休みたい、女は家で話したい。男はほめてほしい、女は分かってほしい。男は好きとうそをつく、女は嫌いとうそをつく。男は本当に必要なら千円のものに二千円払う、女は二千円が千円になっていれば必要なくても買う。いかがでしょうか？ちなみに私は男ですがケチだから安ければ買ってしまいます。

**長嶋 秀治：「我慢」**

「電気使用量のお知らせ」に使用量の前年度比較でプラスマイナス%が表示されているのをご存知ですか？我が家の今年7月分の使用量は前年度比で43%減少していました。

「雨にも負けず風にも負けず、雪にも夏の暑さにも負けぬ丈夫な身体を持ち・・・」のせいで我慢をしていたわけではありません。原因は今年の7月は6月末に梅雨が明け暑い7月でした。今年は昨年と比べ梅雨が1か月遅い7月末でしたので、その分電気の消費量が少なかったのです。TV、ラジオで命に係わる暑さですと放送しています。我慢をしないでエアコンを使いましょう

**予告：11月 「船橋ユーモアスピーチの会」**

11月14日(木) 14時 ニッセイプラザ1階 会議室  
ロングスピーチ

山中 昇さん

「NHK「ためしてガッテン！」－健康に役立つ情報総まとめ」

川田 茂雄さん

「犬と暮らせば、in USA」

スピーチテーマ 「格言・諺」 「預金」